

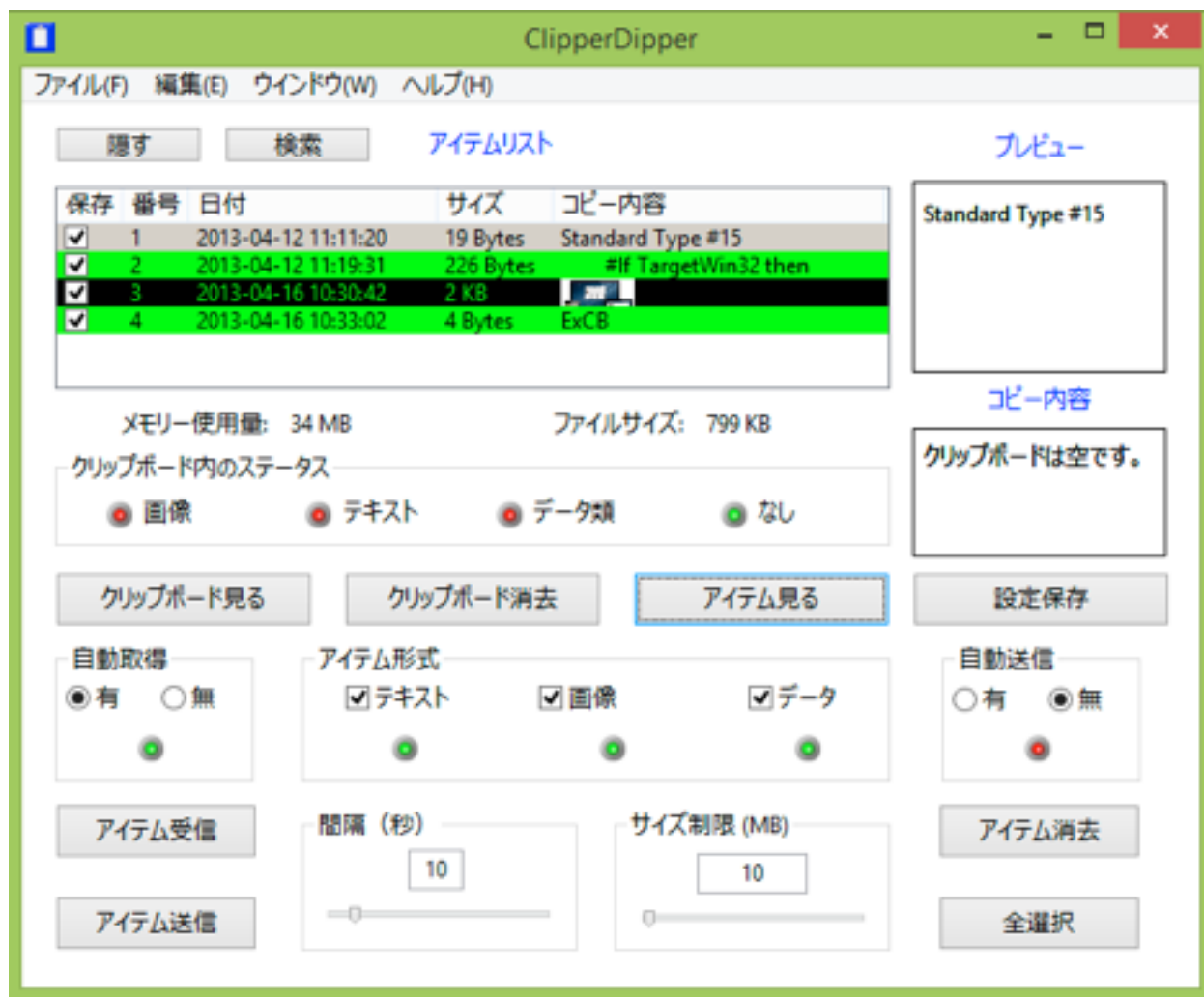
ClipperDipper ドキュメント

概要	3
主な使用方法	4
プレファレンス	4
メインパネル各説明	5
隠す	5
検索	5
アイテムリスト	6
リスト色 (プレファレンスパネル)	6
クリップボード内のステータス	7
クリップボードステータス (CB ステータス プレファレンス内)	7
プレビューパネル	8
メモリー使用量	8
ファイルサイズ	8
クリップボード見る	8
クリップボード消去	9
アイテム見る	9
全選択	9
自動取得	9
アイテム形式	10
自動送信	10
アイテム受信	10
アイテム送信	10
間隔(秒)	11
設定保存	11
サイズ制限	11

ClipperDipper ドキュメント

アイテム消去	11
プリファレンス	12
メニューバー	12
ファイル	12
編集	12
ウェインドウ	12
ヘルプ	12
アイコン表示	13
アイコンの表示場所(プレファレンス画面)	14
ウィンドウを隠す(プレファレンス内)	14
画像ビューアー	15
テキスト ビューアー	16
サポート	17
ソフトウェアライセンス契約	17

概要



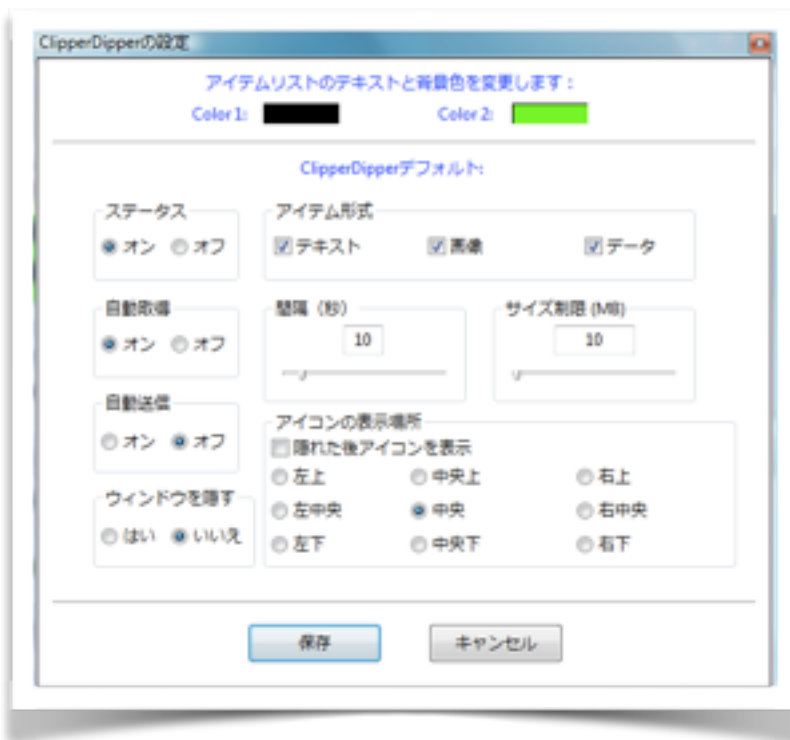
Clipper DipperはAOB & DAVINCI Internationalが製作した、クリップボードにコピーされた内容を常時監視し、保存、再利用を目的としてコピー拡張ソフトです。このソフトウェアはWebブラウザ、書類作業、事務作業、グラフィックエディタ、メールソフトなどの様々なアプリケーションを使用中クリップボードにコピーされたテキスト、画像、生データのリストを保持するクリップボードアーカイブユーティリティソフトウェアです。アイテムリストテーブルの保存の項目にチェックを入れることでそのデータは保存することができます。保存されたデータはClipper Dipper起動時に再ロードされ、保存にチェックが入ってないデータはアイテム消去ボタンで削除されます。

主な使用方法

自動取得がオンになっている場合、指定された間隔にクリップボードをチェックします。アイテム受信を選択すると手動でクリップボードからリストに保存されます。リストに保存されたアイテムは、クリップボードに再び貼り付けることができ、その他のアプリケーションに貼り付けることができます。

プリファレンス

Clipper Dipperの動作は、メインパネルで設定を変更できます、デフォルトの設定から変更する為にはメインパネルの設定保存のボタンをクリックするか、メニューバーの編集からプリファレンスをクリックし、環境設定パネルで変更することができます。環境設定パネルでは、メインパネルのコントロール以外にリストアイテム、ClipperDipperの起動時の動作、アイテムリストの色等の設定が可能です。



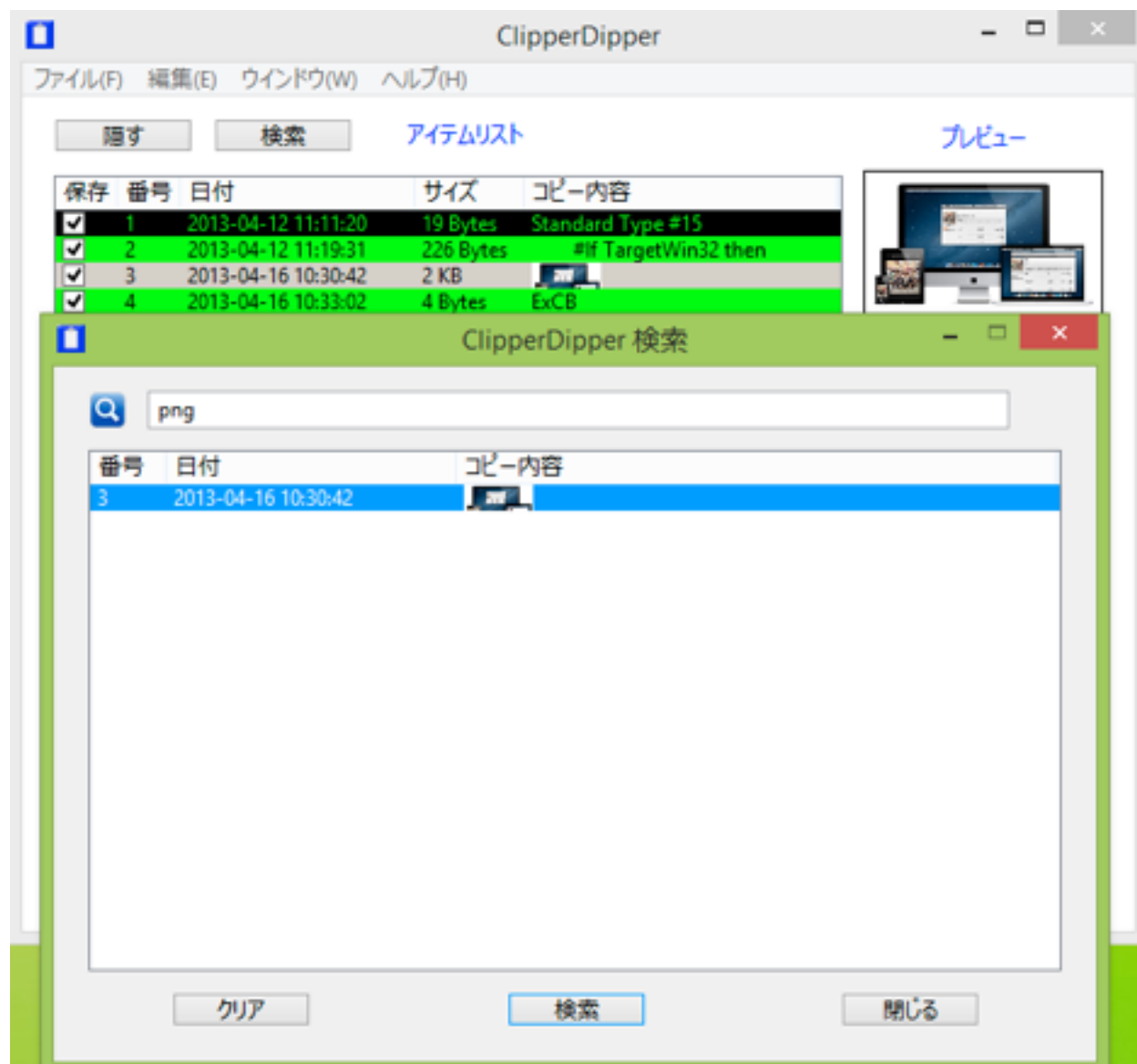
メインパネル各説明

隠す



隠すボタンを押すとClipper Dipper ウィンドウ非表示にします。アプリケーションドックのアイコンからデスクトップにClipper Dipperを復元します。コントロールパネルから非表示した後の動作の設定が可能です。

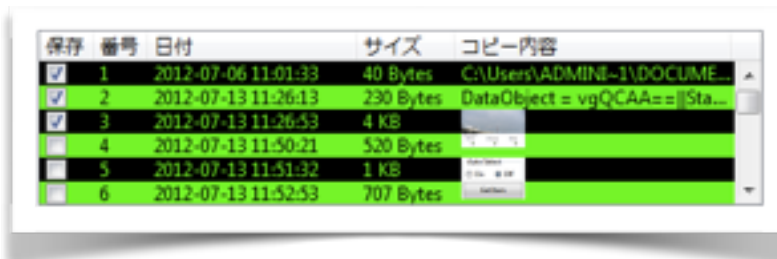
検索



ClipperDipper ドキュメント

検索ボタンは隠すボタンのとなりにあり、クリップボードに格納されている項目を簡単にサーチウィンドウに移して表示する機能があります。検索ウィンドウのリストボックス内の項目をクリックすると、メインウィンドウの項目リストにあるその項目がハイライト表示されます。

アイテムリスト



保存	番号	日付	サイズ	コピー内容
<input checked="" type="checkbox"/>	1	2012-07-06 11:01:33	40 Bytes	C:\Users\ADMINI~1\DOCU... ..
<input checked="" type="checkbox"/>	2	2012-07-13 11:26:13	230 Bytes	DataObject = vjQCAA==jSta...
<input checked="" type="checkbox"/>	3	2012-07-13 11:26:53	4 KB	
<input type="checkbox"/>	4	2012-07-13 11:50:21	520 Bytes	
<input type="checkbox"/>	5	2012-07-13 11:51:32	1 KB	
<input type="checkbox"/>	6	2012-07-13 11:52:53	707 Bytes	

アイテムリストは、クリップボードにコピーされたデータファイルが格納されていきます。リストからデータをクリックすることで選択されます。

アイテムリストには以下の項目が含まれます。

保存 - チェックボックスにチェックを入れると、そのアイテムはソフトウェアのデータベースファイルに保存され保持します。チェックが外されたデータはClipper Dipperが閉じるかアイテム消去ボタンを押すことによって削除されます。

番号 - アイテムに番号を付与します。

日付 - クリップボードから取得した日付と時刻を表示します。

サイズ - リスト内のアイテムのファイルサイズを表示します。

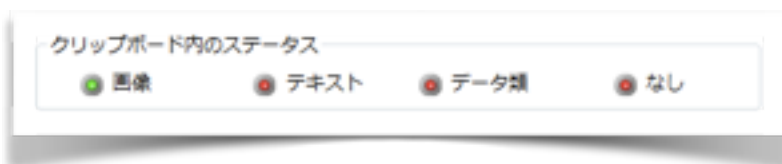
コピー内容 - アイテムの内容が表示されます、画像であればサムネイル、テキストデータであればテキスト、生データであればファイル名やURL、パス、Base64エンコードされたテキストが表示されます。

リスト色 (プレファレンスパネル)



アイテムリストの背景色は変更が可能です。ファイルメニューの編集のプレファレンスから変更できます。

クリップボード内のステータス



現在のクリップボード内のファイルの種類を表示します。

画像であれば画像のマークが緑色になります。

テキストであればテキストのマークが緑色になります。

生データであれば生データのマークが緑色になります。

クリップボードに**なにも入ってなければ**、なしのマークが緑色になります。

クリップボード内のデータが設定したサイズ制限よりも大きいアイテムの場合、黄色く表示されます。その場合は受動取得はされませんが、アイテム受信をクリックすることで手動では取得することが可能です。プレファレンス画面でステータスをオフにすると、クリップボード内のステータスは表示されなくなり、常に黄色に表示されます。

クリップボードステータス (CB ステータス プレファレンス内)



ステータスをオンにするとクリップボード内のデータファイルの種類をメインパネルで表示します。オフの場合は全て黄色に表示され、クリップボード内のステータスが表示されます。

プレビューパネル



プレビューパネルは選択したアイテムのプレビューを表示します、プレビューウィンドウをクリックするとテキストであればテキストビューアー、画像であれば画像ビューアーが開きます。生データであれば、データタイプ、ファイル名や種類に応じて、ファイルパス、またはBASE64 エンコードされたテキストを表示します。

メモリー使用量



メモリー使用量の項目はアイテムリストで使用しているメモリの量を示しています。クリップボードが新しいアイテムをチェックインするたびに更新されます。

ファイルサイズ



ファイルサイズは現在のクリップボード内のデータファイルサイズを表示します。

クリップボード見る



現在のクリップボードの中身を表示します、プレビューパネルにテキストであればテキスト、画像であれば画像、生データであればデータタイプによって、ファイル名、ファイルパス、または Base64エンコードのテキストが表示されます。

クリップボード消去



クリップボード消去をクリックすると、現在のクリップボードの中身を消去します。

アイテム見る



アイテムリストから項目を選択し、選択されている状態でアイテム見るを選択すると、ファイル データタイプによってそれぞれのプレビューパネルが表示されます。

全選択



アイテムリストの保存の項目のチェックボックスを全て一括で選択または選択解除をします。保存のチェックボックスを選択することでClipper Dipperを閉じたり、アイテム消去ボタンをクリックしてもアイテムリストは保持され。

Clipper Dipperを再起動しても復元されます。

自動取得



自動取得をオンにすると設定した間隔(秒)のたびにクリップボードの内容をアイテムリストに転送します。自動取得をオフにするとクリップボードからのアイテムリストのコピーは手動になります。

アイテム形式



アイテム形式は、クリップボードからアイテムリストに送るアイテムの種類を選択できます。

テキスト – クリップボードからテキストデータをコピー

画像 – クリップボードから画像をコピー

データ – クリップボードから生データをコピー

自動送信



自動送信ボタンがオンになっている場合は、アイテムリストのアイテムを選択すると自動でクリップボードに送信されます。

アイテム受信



クリップボードの内容を手動でアイテムリストへ転送します。

アイテム送信



アイテムリストのアイテムを選択し、手動でクリップボードに送信します。

間隔(秒)



間隔(秒)は自動取得がオンになっている場合設定された間隔でクリップボードをチェックします。間隔は0秒(自動取得は無効化)から600秒(10分)です。この設定はスライドコントロールを移動するか、値を直接入力します。メインパネルのメモリ使用量の表記はこの間隔でも更新されます。

設定保存



現在のメインパネルの設定を保存します。メインパネルの設定を変更しClipperDipperを再起動した際は保存された設定が適用されます。

サイズ制限



サイズ制限の設定は受動取得がオンになっている時、このサイズ制限の上限を超えるデータは自動でアイテムリストに送信されず、クリップボード内のステータスは黄色く表示されます。このときに手動でアイテム受信をクリックすることでアイテムリストに送ることは可能です。アイテムの制限の範囲は1~1000MBです。

アイテム消去



アイテムリストのアイテムを削除します、保存の項目にチェックが入っているアイコンは保存されます。

プリファレンス

編集からプリファレンスパネルを開くとClipperDipperの環境設定を変更することができます。フロントパネルにも同じように設定を変更できます。

メニューバー

ファイル

更新 - メインパネル、アイテムリストを更新します。アイテムリストの保存のチェックボックスは全てにチェックが入り、最後のアイテムが選択されます。

データベース転送 - Data Managerのアプリで使用するためにClipperDipperデータベースを転送します。

編集

クリップボードより取得 - フロントパネルのアイテム受信と同じ機能

クリップボードに送信 - フロントパネルのアイテム送信と同じ機能

ウエインドウ

隠す - Clipper Dipper ウィンドウを隠し、バックグラウンドで作動させます。環境設定でアイコンを表示するかどうかを変更できます。

表示する - 隠した後のウィンドウを再表示します。

ウィンドウリスト - 開いているすべてのClipperDipperウィンドウを一覧表示します。ウィンドウ名をクリックするとフロントにそのウィンドウがあらわれます。

ヘルプ

ヘルプ - ヘルプファイルをPDFで展開します。

Clipper Dipperについて - Clipper Dipperの概要を表示します。

アイコン表示



隠れた後のアイコンを表示がプレファレンスパネルでオンになってる場合、隠すをクリックした後は、画面の任意の位置にアイコンが表示されます。



隠れた後のアイコンには以下のコントロールメニューがあります。

ClipperDipper

表示する - Clipper Dipper ウィンドウを再表示します。

終了 - Clipper Dipper を終了します。

画面の場所

左上 - 画面の左上に表示

左中央 - 画面の左中央に表示

左下 - 画面の左下に表示

中央上 - 画面の中央上に表示

中央 - 画面の中央に表示

中央下 - 画面の中央下に表示

右上 - 画面の右上に表示

右中央 - 画面の右中央に表示

右下 - 画面の右下に表示

アイコンの表示場所(プレファレンス画面)



アイコンの表示場所の項目は、ウィンドウを隠した後のアイコンの表示位置を設定します。

隠れた後アイコンを表示の項目にチェックを入れない場合は、ウィンドウを隠してもClipperDipperのアイコンは表示されません。

ウィンドウを隠す(プレファレンス内)



【はい】に設定されている場合、Clipper Dipperが起動されたときにClipperDipperは隠された状態で起動します。

画像ビューアー

アイテムリストから選択された画像である場合は、プレビューウィンドウ(または、画像がプレビューウィンドウより大きい場合は縮小サムネイル)が表示されます。プレビューパネルをクリックするか、アイテムリストの画像を選択している状態でアイテムを見るをクリックすることで画像ビューアーが表示されます。



サポート

E-メール サポート Clipper Dipper:

toiawase@aob-davinci.com

Clipper Dipperの情報は以下のホームページからも確認できます:

<http://www.aob-davinci.com>

ソフトウェアライセンス契約

重要:このソフトウェア使用許諾契約は、ユーザーであるあなたと、ソフトウェア ClipperDipperを 製作した株式会社AOB & Davinciインターナショナルの間の法的契約になります。このソフトウェアを使用するためにこの許諾契約へのご同意が必要となります。この契約の各条項へのご同意がない場合、このソフトウェアを使用することはできません。また、あなたのコンピュータ内の、ClipperDipperに関する全てのデータを消去していただきます。

1.実施権の許諾。

この使用許諾契約への同意を条件として、株式会社AOB & Davinciインターナショナルは非独占的で譲渡不能なソフトウェア使用許可権をユーザーに与えます。ユーザーが、当ソフトウェアの使用許諾権の全体もしくは一部を、第三者に対して販売、賃貸、委託、サブライセンス、譲渡又は開示することはいかなる場合にも認められません。このライセンス契約におけるソフトウェアの使用は、個々のユーザーのみの使用に制限されます。「このライセンスは、ソフトウェアが同時に複数のコンピュータ・システム上で使用されない限りユーザーがソフトウェアを複数のコンピュータ・システム上にインストールすることを許可します。」この使用許諾契約によって認可されない限り、ユーザー自身が、ソフトウェアのコピーを作ることとも第三者がソフトウェアのコピーを作ることをも許可することもできません。バックアップ用に限りソフトウェアのコピーは認められています。ユーザーは、窃盗および不適当な使用からソフトウェアとライセンスコードのコピーを保護するために必要な努力を行うことに同意します。ユーザーは、ソフトウェアのコピーを配布したり、配布を促進したりしないことに同意します。ユーザーはソフトウェアの使用許諾のない複製は犯罪であり、法で罰することができるということを認識します。

2. ライセンス条件

ライセンスは契約が解除されるまで有効です。ユーザーは、ユーザーが所有するソフトウェアのすべてのコピーを消去することによって、いつでもライセンスを終了することができます。また、ユーザーがこの使用許諾契約の条項に違反した場合も、ライセンス契約は終了します。ユーザーは、契約終了と同時に、ユーザーが所有する全ての当ソフトウェアのデータを消去することに同意します。

3. 著作権

ソフトウェア及び付随する文書資料は、株式会社AOB & Davinciインターナショナルの所有物であり、アメリカ合衆国著作権法及び国際協定条項によって保護されます。

ユーザーは、株式会社 AOB & Davinci インターナショナルから文書による承諾を得た場合を除き、ソフトウェア又は文書資料を、修正、分解、デコンパイル又は、リバースエンジニアすることはできません。ユーザーは、このライセンス又はソフトウェアをサブライセンス、委託、譲渡することはできません。ユーザーがソフトウェアのいかなるコピーをも第三者に譲渡した場合、このライセンス契約は自動的に終了します。

4. 承認および免責

ユーザーは、エンドユーザ向け文書資料に明記されているように認可されたソフトウェアを適切に操作しないことにより、ソフトウェアが適切に操作されたなら避けられたであろうコンピュータ上のデータの損失、不具合等が発生する可能性があることを認めます。ユーザーは、適切にソフトウェアを操作しないことから生じるあらゆるクレーム、損害、損失、費用、経費又は他のいかなる責任からも株式会社AOB & Davinciインターナショナルは免責されることに同意します。

5. 損害に対する免責

法人の利益の損失、企業情報の喪失、財産の喪失、身体的損傷、不慮の死、又は当ソフトウェアの使用、又は使用する能力の欠如により結果として生じたいかなる損害に対しても株式会社AOB & DAVINCIインターナショナルは、無制限に免責とします。但し、下記限定保証の条項に違背があった場合には、後述の範囲内での救済を行います。

6. 限定保証

株式会社AOB & DAVINCIインターナショナルは、当ソフトウェア購入日以後30日間は、付属文書資料どおりに正常に作動することを保証します。当保証は、本ソフトウェア

専用のものであり、明示されているか否かにかかわらず、他の保証はいかなる場合にも行わない。

7. 救済

ユーザーは、当ソフトウェアが上述限定保証どおりに作動していないと主張する場合には、株式会社AOB & DAVINCIインターナショナルに対し、上記保証期間の終了から30日を超えない期間内に文書で通告しなければなりません。この限定保証条項違背の場合には、株式会社AOB & DAVINCIインターナショナルは、(i)無償によるソフトウェアの修理又は交換、又は(ii)ソフトウェアの返還及び購入代金の払い戻しの了承のいずれかを選んで対処致します。

8. 準拠法

この使用許諾契約は、日本国法に準拠しています。